

町長行政報告

松前半島道路建設促進期成会を設立

平成26年11月26日、函館市内のホテルにおいて松前半島道路建設促進期成会の初めての総会が開催され、当町を含む2市4町が出席し、当日付けで同期成会が設立されました。

期成会の設立趣旨は、「渡島西部地域の幹線道路網整備促進」、「函館市内に集中する高度医療施設と渡島西部地区との時間短縮」など、当地区が函館圏と一体になり力強く持続可能な地域を形成することとしております。

構成自治体は、函館市、北斗市、松前町、福島町、知内町、木古内町の2市4町で総会では、会長に工藤函館市長、副会長に石山松前町長、幹事には佐藤福島町長が選任され、宮内渡島総合振興局長を顧問にお願いしており、今後については、これまでの渡島総合開発期成会における要望活動に加え、期成会独自の要望活動を強化し、建設促進に努めていきます。

固定資産税大幅減収 平成27年度税制改正で要望

平成27年度の税制改正について、総務大臣、国土交通大臣、道内選出の関係する国会議員に対し12月10日付で、木古内町議会議長との連名で要望書を提出しています。

このたびの、税制改正に関する国土交通省案は、北海道新幹線に適用する固定資産税の特例に関して、従来の「三島特例の1/2」に「青函トンネル特例の1/6」と「新幹線特例の1/6」を新たに適用するもので、このことにより、新幹線木古内駅舎等の固定資産税の課税標準額を1/72とするものです。

このとおり税制改正が行われると当町の固定資産税は大幅な減収となるため、次の3点について要望しました。

1. 北海道新幹線の建設に伴う固定資産税の新たな特例を導入しないこと
2. 三島特例の適用期限を延長しないこと
3. 固定資産所在市町村の課税権を尊重すること



平成27年4月1日から
人権擁護委員として委
嘱される予定の仁禮
聡子さん（上）と木元
榮さん（下）

諮問
人権擁護委員の候補者として、仁禮聡子さん（本町・新任）と木元榮さん（前浜・再任）を推薦したい旨の諮問があり、提案のとおり答申することになりました。

意見書

下記のとおり、提出された意見書案は原案どおり可決され、衆参両院議長・内閣総理大臣ほか関係大臣に提出しました。

- ▼「国民健康保険に対する国庫負担金の増額を求める意見書」
提出者 笠井 敬吾 議員
- ▼「漁業用燃油にかかる軽油引取税免税措置の堅持に関する意見書」
提出者 新井田昭男 議員
- ▼「安全・安心の医療・介護の実現、医療・介護従事者の増員と処遇改善を求める意見書」
提出者 東出 洋一 議員
- ▼「特定秘密の保護に関する法律の慎重運用を求める意見書」
提出者 福嶋 克彦 議員

総務・経済常任委員会
3月定例会までの調査事項
まちづくり新幹線課
・人口減少対策検討会議
の取り組み状況につ
いて（継続）
・観光交流センターにつ
いて
建設水道課
・水道事業会計及び下
水道事業特別会計の経
営状況について（継続）
教育委員会
・郷土資料館の整備状況
について
その他緊急を要する課題
について